
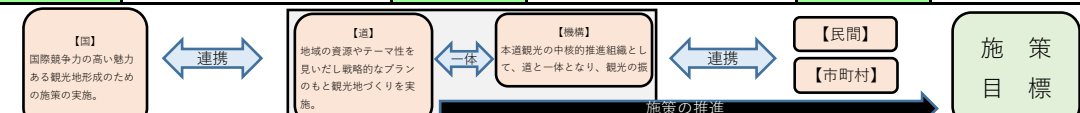


令和3年度 基本評価調書①		所管部局	経済部	所管課	観光振興課	
施策名	誘客活動の推進			施策コード	05051	
政策体系(中項目)	多彩な地域資源を活かした世界が憧れる観光立国北海道の更なる推進			政策体系コード	2(6)B	
知事公約	C0003 C0081 C0084 C0117 C0120 C0123 C0129	総合戦略	A3322 A3323 A3324	国土強靱化	—	事務事業数 19
SDGs				総合判定	やや遅れている	

【1 Plan】

施策目標	観光客のさらなる誘客促進のため、対象国・地域の市場ニーズに応じた戦略的な誘客を推進するとともに、観光振興の効果を道内全域へ波及させるため、地域や観光関係者との連携による効果的な誘客プロモーションを展開していくことなどにより、国内外の旅行市場の拡大に取り組む。					
現状と課題	人口減少が進んでいる北海道において、観光による交流人口の増加がもたらす消費の獲得が今後も重要。大都市圏など道外からの誘客はもとより、道民の道内旅行を促進していくとともに、海外への戦略的な誘客活動を推進するなど、国内外の市場に対する戦略的な誘客活動が必要である。					
主な取組	「新北海道スタイル」の構築に取り組む宿泊施設等を利用する、道内客を対象とした旅行商品の割引支援、「新北海道スタイル」に対応した宿泊を伴う教育旅行及び冬季観光施設への日帰り教育旅行の支援等					
予算額(千円)	R3	4,257,115	R2	752,651	R1	902,791
施策のイメージ						

＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	万人	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
道外からの観光入込客数	目標値		839	878	917	1,150以上	89.0%	C
	実績値		885	919	816	—		
設定理由	国内外への本道の魅力の発信や戦略的な誘客活動による成果を図る指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
日韓の国際情勢の変化の影響による訪日韓国人観光客の減少や新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴う旅行需要の減少から大きく減少しており、指標が低調となった。								

指標名②	増加	万人	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
道外からの観光入込客数 ※うち外国人	目標値		249	280	311	500以上	78.5%	D
	実績値		279	312	244	—		
設定理由	国内外への本道の魅力の発信や戦略的な誘客活動による成果を図る指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
日韓の国際情勢の変化の影響による訪日韓国人観光客の減少や新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴う旅行需要の減少から大きく減少しており、指標が低調となった。								

指標名③	増加	回数	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
国際会議等の開催件数(暦年)	目標値		116	119	122	140	94.3%	B
	実績値		119	116	115	—		
設定理由	道内における国際会議等の開催動向を把握する指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
R元年度は、北海道MICE誘致推進協議会への参画や、国主催の省庁連絡会議における本道への会議誘致のPRなど、積極的に国際会議等の誘致に係る取組を行うとともに、10月には、G20観光大臣会合を倶知安町で開催し、本道の食や観光の魅力を国内外に発信した。								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	誘客活動の推進	施策コード	05051
---------------	-----	---------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	道外からの観光入込客数	885	919	816	917	C
	道外からの観光入込客数のうち外国人	279	312	244	311	D
	国際会議等の開催件数（暦年）	119	116	115	122	B
目標（指標）の達成状況	日韓の国際情勢の変化の影響による訪日韓国人観光客の減少や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による旅行需要の減少により減少傾向にあり、目標に向けたさらなる取組が必要。				指標総合判定	C
連携状況	本道観光の中核的組織である（公社）北海道観光振興機構や地域における観光振興の主体である市町村やDMO、観光協会等と常に連携し、誘客活動を推進している。				連携判定	○
緊急性優先性	新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により本道の観光関連産業は危機的な状況にあり、道では、国の観光施策の運用等に関して、感染状況に応じて、きめ細やかに要望を実施しており、国の施策も活用した効果的な誘客活動の推進に努めている。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による旅行需要の減少により、本道の観光客は減少傾向にあり、本道への安定した観光入込客数の増加を達成するためには、災害や感染症、国際情勢などによる影響の最小化に向けたさらなる取組が必要				総合判定（一次評価）	やや遅れている

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	感染症の状況に応じ、道内から国内、海外へと段階的な観光需要の回復を目指した取組を進める。
②	海外への誘客活動については、渡航制限緩和状況に応じた戦略的なプロモーションの取組を進める。	
③		

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	無し	対応状況 (R3.3時点)	
R3年度二次政策評価			

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	マーケティングに基づく戦略的な北海道観光プロモーションを実施するとともに、多様な事業者の参画により官民連携の取組である「HOKKAIDO LOVE!」プロジェクトを更に拡大し、感染収束時のリベンジ消費を確実に取り込む。